

特集

町政に関する 町民アンケート調査がまとまりました

町企画政策課政策推進班 ☎(70)0315

町では、平成13年度から22年度の10年間を計画期間とする「総合計画」を基に行政運営を進めてきました。今年度が目標年次となることから、現計画を見直し、平成23年度を初年度とする次期総合計画の策定に向け、取り組んでいます。町民アンケート調査は、町民の意向・町の施策に対する満足度や重要度などを伺い、次期総合計画の基礎資料とするために実施しました。なお、「町民アンケート調査報告書」は、町ホームページや役場受付行政情報コーナーで閲覧できます。

調査結果

満足度1位は「町営ガスの供給」、
重要度1位は「救急体制」、
ニーズ度1位は「駅周辺の整備」

調査結果を総括すると、「救急(救急体制)」、「医療体制(安心できる医療体制)」、「社会保障(介護サービス)」など、事故や病気など方が一の事態への備えを重要と考える方、「ガス(町営ガスの供給)」、「母子健康管理(母子健康管理)

として、行政情報(行政の情報発信)に比較的満足している方が多い傾向が伺えます。また、重要度・満足度を基に、ニーズ度を分析すると「駅周辺(駅周辺の整備)」、「商業(商工業の振興)」、「救急(救急体制)」を最も必要



▲満足度の高い
「町営ガスの供給」



▲満足度の高い
「母子健康管理」



▲重要度の高い
「救急体制」

調査の方法

- ▼調査期間 平成21年12月4日～12月21日
- ▼調査対象 町内在住の満20歳以上の男女3千人
- ▼抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ▼調査方法 郵送による調査票の配布・回収
- ▼回収率 41・3% (1,240人)

集計の方法

- 重要度・満足度は項目ごとに算出し、分析しました(図表1)。
- 〈算出方法〉

「重要でない」から「重要である」、「不満」から「満足」までの4段階の回答を1～4点に点数化し、平均点をそれぞれ「重要度」、「満足度」とします。

ニーズ度は、重要度と満足度の差であり、重要度が高く、満足度が低いほどニーズ度が高くなります(図表3)。

住みよさ (住みごこち) 結果

「住みよさ」について

項目	平成21年 (総数:1,240)	平成19年 (総数:1,037)	平成17年 (総数:1,149)	平成11年 (総数:1,492)
とても住みやすい	8.0%	8.6%	10.3%	10.2%
やや住みやすい	20.9%	22.6%	23.2%	16.8%
「住みやすい」合計	28.9%	31.2%	33.5%	27.0%
ふつう	37.1%	35.7%	37.4%	43.0%
やや住みにくい	26.9%	23.1%	22.9%	22.5%
とても住みにくい	4.3%	7.3%	4.9%	6.9%
「住みにくい」合計	31.2%	30.4%	27.8%	29.4%
無回答	2.8%	2.7%	1.3%	0.6%



▲ニーズ度の高い「駅周辺の整備」

「町への誇りや愛着」について

項目	平成21年 (総数:1,240)	平成19年 (総数:1,037)	平成17年 (総数:1,149)	平成11年 (総数:1,492)
持っている	15.5%	16.6%	20.0%	26.3%
どちらかといえば持っている	37.3%	31.4%	34.1%	28.1%
「持っている」合計	52.8%	48.0%	54.1%	54.4%
どちらかといえば持っていない	11.9%	16.1%	14.3%	10.6%
持っていない	10.2%	13.8%	11.2%	11.3%
「持っていない」合計	22.1%	29.9%	25.5%	21.9%
どちらともいえない	22.8%	20.0%	18.9%	22.7%
無回答	2.3%	2.1%	1.5%	1.0%

「定住意向」について

項目	平成21年 (総数:1,240)	平成19年 (総数:1,037)	平成17年 (総数:1,149)	平成11年 (総数:1,492)
ずっと住み続けたい	40.1%	35.7%	42.4%	44.8%
当分は住んでいたい	29.9%	30.3%	27.4%	24.9%
「住んでいたい」合計	70.0%	66.0%	69.8%	69.7%
やがては移りたい	16.0%	18.4%	17.4%	14.5%
すぐにでも移りたい	2.7%	3.7%	2.8%	2.3%
「移りたい」合計	18.7%	22.1%	20.2%	16.8%
わからない	8.7%	10.3%	8.5%	12.7%
無回答	2.6%	1.6%	1.5%	0.8%

「住み続けたい理由」について ※複数回答

項目	平成21年 (総数:868)	平成19年 (総数:684)	平成17年 (総数:802)
交通(アクセス)が便利である	22.6%	24.1%	19.2%
買い物など日常生活が便利である	25.9%	21.2%	25.8%
医療・福祉面での安心がある	6.7%	8.6%	—
行政サービスが充実している	1.8%	1.3%	—
自然環境が良い	69.2%	67.5%	64.0%
教育環境が充実している	1.4%	1.3%	—
公共サービスが良い	—	—	1.7%
人間関係が充実している	19.6%	18.0%	30.0%
近くに親族がいる	30.8%	31.0%	28.4%
その他	13.6%	13.9%	11.7%
無回答	1.5%	2.6%	2.0%

「移りたい理由」について ※複数回答

項目	平成21年 (総数:231)	平成19年 (総数:229)	平成17年 (総数:232)
交通(アクセス)が不便である	65.4%	65.9%	63.8%
買い物など日常生活が不便である	45.5%	40.6%	46.1%
医療・福祉面で不安を感じる	59.7%	57.2%	—
行政サービスが充実していない	40.7%	40.2%	—
自然環境が良くない	5.2%	5.2%	8.6%
教育環境が充実していない	13.0%	14.0%	—
公共施設が不十分	—	—	48.3%
公共サービスが悪い	—	—	37.5%
人間関係が希薄である	12.6%	14.0%	—
近くに親族がない	9.1%	7.0%	—
その他	14.3%	13.5%	27.6%
無回答	0.9%	3.1%	0.4%

「住みやすい」と感じている方は28・9%
「住みよさ」は、「とても住みやすい」、「やや住みやすい」を併せると28・9%で、平成19年度調査と比較すると2・3ポイント低くなっています。「町への誇りや愛着」は、「持っている」、「どちらかといえは持っている」を併せると52・8%で、平成19年度調査と比較すると4・8ポイント高くなっています。町への「定住意向」は、「ずっと住み続けたい」、「当分は住んでいたい」を併せると70・0%で、平成19年度調査と比較すると4・0ポイント高くなっています。

また、住み続けたい理由として最も高いポイント得た項目が「自然環境が良い」(69・2%)で、移りたい理由として最も高いポイントを得た項目が「交通(アクセス)」が不便である(65・4%)という結果となっています。